

さくらっ子

輝くこころ 輝くひとみ 輝くからだ

三春町立中郷小学校だより

No. 6

H28. 7. 13

発行責任者 校長 橋本一弥



願いを込めて

七夕集会

7月7日には、幼稚園と共同で恒例の七夕集会を開催しました。お世話になっている地域の方々をお迎えし、七夕のお話を伝えたり、願い事を発表したりして七夕にちなんだ活動を行いました。また、ゲームを通して交流を広めることもできました。短冊に込めた一人一人の願い、叶うといいですね。

体力テストで自分の体力を知る

6月下旬に50m走や立ち幅跳び、ボール投げ、反復横跳びなどの種目で、全校生が自身の体力を測定しました。児童は、少しでもよい記録が出るようにと、精一杯体を動かして測定していました。また、持久力を測定するシャトルランの種目は後日に実施しましたが、これに向けては、到達目標を設定して休み時間などに練習を積んで本番に臨み、見事にクリアする児童が多くみられました。

本校の昨年度の結果は、低学年児童が種目の平均得点で全国平均を下回るという結果が出ています。バス通学などの生活環境による要因が大きいと思われます。一方で、学年が進むにつれてその傾向が改善し、全国平均を上回っています。これは、体育の授業をはじめとする指導や水泳や陸上の交歓会に向けての取組が実を結んでいると思われます。

ご家庭でも、特に学年が小さい児童には、日頃から運動に親しめるよう、意図して体を動かす機会を作ってくださいようお願いします。

今回の結果は、集計ができ次第、お知らせいたします。



ありがとう宗像さん！ ～児童へ本の寄贈～

地域にお住まいの宗像克恵さんから高学年児童一人一人に、児童が希望する本を寄贈いただきました。宗像さんのこの活動は8年目となるとのことで、たいへんありがたいことです。いただいた本には、「読書によって、世界の政治のあり方から、人としての生き方を支えている道徳について、たくさんのヒントを得られます」というメッセージも添えられていました。宗像さんが感銘を受けた「ゲド戦記」の紹介もいただきました。本を読む楽しさ、児童に伝わりました。いただいた図書をぜひ愛読書にしてほしいと思います。



よりよい学習活動のために



学習コーディネーター打合せ

地域の方々に授業においていただき、充実できるようにするための打合せです。



校内研修（授業研究）

伝える力や読書習慣の育成をめざして、国語科の授業の改善に努めています。

子どもをたくましく育てるために

その3 自分の事を自分でやる習慣を育てましょう③

～学習用具の準備～

学習用具の準備で、特に家庭で心配なのは、ランドセルの中身ではないでしょうか。忘れ物はないか、中身を入れ替えないでそのまま登校してしまったのではないかと心配になってしまうものです。低学年のうち、やはり保護者が手伝ったり確認したりする必要がありますが、これも次第に自身でやらせたいところです。子どもが自分でできるようになる前提として、翌日の準備物について「連絡をよく聞いてくる」ことが大切になります。これができないといくらやろうと思ってもできない、やる気も起こらないでしょう。そして、連絡を忘れないように「メモする習慣」が大切になります。

連絡帳等にメモするという行動は、一生必要な大切な行為です。高校生や社会人になれば手帳やメモ帳に、また、今日では携帯電話やスマートフォンなどのカレンダー機能などに替わるかもしれませんが、基本は同じです。いつ、何があるのか、それに対して自分が準備すべきことは何かを忘れないようにメモして、それを確認する習慣がとても大切です。きちんと身につけば一生もの、逆に身に付かなければ大きな壁にぶつかります。学校でも気をつけて育てていますので、家庭でも準備の作業とあわせてメモの習慣に気をつけて声をかけていただければと思います。

ランドセルの中身に加えて私に関心をもって見ているのは、筆入れの中身です。筆入れは、その子どもの「学びのバロメーター」とも言われます。筆入れを見れば、どのくらい学習ができるかよくわかります。きちんとけずられた1日分の鉛筆とけしゴム、定規、赤ペンなどが入っている子どもは心配ありません。逆に、折れた鉛筆に消しゴムなしなどの状況は赤信号です。いかがでしょうか。学習がうまく進んでいない子どもへの指導として筆入れの中身の準備や確認から入っていくこともあるほどです。

ランドセル、筆入れ、いずれも「物事を進めるときには事前の準備が大切」ということにつながります。学校の準備を整えることを通して、先を見通し備えることのできる子どもに育てていきたいですね。